



ユーザの挿入

Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) を使用すると、ユーザのグループを Cisco Unified Communications Manager ディレクトリに追加することができます。

Cisco Unified Communications Manager へのユーザの挿入

ユーザのグループを Cisco Unified Communications Manager ディレクトリに追加する手順は、次のとおりです。

始める前に

ユーザ名、制御対象のデバイス名、および電話番号が格納されている CSV データ ファイルが必要です。この CSV データ ファイルは、次のいずれかの方法で作成できます。

- BAT スプレッドシートを CSV 形式に変換する。
- エクスポート ユーティリティで、ユーザデータのエクスポート ファイルを作成する。

エクスポート ユーティリティを使用して生成したファイルを挿入する場合は、`_MgrLevel#` サフィックスに基づいて、降順でファイルを挿入します。ここで、`#` は 1 ~ 20 です。[マネージャのユーザ ID] フィールドでマネージャのユーザ ID が使用される前にマネージャのユーザ レコードが配置されるようにするために、`_user` サフィックスを持つファイルは最後に挿入します。

手順

ステップ 1 [一括管理] > [ユーザ] > [ユーザの挿入] の順に選択します。

[ユーザの挿入 (Insert Users Configuration)] ページが表示されます。

ステップ 2 [ファイル名 (File Name)] フィールドで、このバルク トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。

ステップ 3 エクスポート ユーティリティを使用して作成した CSV データ ファイルの場合は、[ユーザのエクスポートで作成したファイル (File created with Export Users)] チェックボックスをオンにします。

ステップ 4 [ユーザテンプレート名 (User Template Name)] ドロップダウンリスト ボックスから、挿入に使用するユーザ テンプレートを選択します。



(注) ユーザ デバイス プロファイル、コントロール デバイス名、および電話番号は、すでに Cisco Unified Communications Manager データベースに存在している必要があります。

ステップ 5 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 6 [今すぐ実行] オプション ボタンをクリックしてユーザ レコードを即座に挿入するか、[後で実行] をクリックしてユーザ レコードを後で挿入します。

ステップ 7 [送信] をクリックして、ユーザ レコードを挿入するジョブを作成します。

ステップ 8 [一括管理] メイン メニューの [ジョブスケジューラ] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、第 64 章「ジョブのスケジュール」を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、P.65-4 の「BAT ログ ファイル」を参照してください。



(注) ユーザを挿入するために CSV ファイルに入力したフィールド値によって、ユーザ テンプレートに設定された値が上書きされます。



(注) エクスポートした BAT ファイルを使用してユーザを挿入している場合、複数のファイルにエクスポートされたユーザについて、「ユーザ ID がすでに存在している」というエラーが表示されることがあります。たとえば、1 つ目の回線マネージャのリストとユーザのリストが、どちらも同じマネージャ ユーザ ID を含んでいることがあります。

その他の項目

詳細については、P.17-2 の「関連項目」を参照してください。

関連項目

- [新しい BAT ユーザ テンプレートの作成 \(P.16-3\)](#)
- [BAT ユーザ テンプレートのフィールドの説明 \(P.16-6\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager へのユーザの挿入 \(P.17-1\)](#)